

早大生、駅西口再生を支援

産学官連携で活性化

違法風俗店の撤退などで活気を失ったＪＲ西川口駅西口の再生と活性化を探る「産官学」連携による早稲田大学・都市居住環境論研究室の分室、先端研究教育拠点「コ・ラボ西川口」（西川口１の29の１）が5日、オープンした。
（長沼敏夫）

西川口に先端研究教育拠点オープン



紹介された早田教授のゼミ学生たち—川口市西川口1丁目の「コ・ラボ西川口」

同駅西口の一角はかつて性風俗街。県警の集中取り締り、2005年約200軒あった違法風俗店が07年までにゼロに。刑法犯も激減した一方で、空き店舗、空きフロアが急増、今も多くが空いたままで街の活気も失なわれた。このため、川口商工会議

所は08年7月、「同駅西口再生会議」を設置、飲食店の掘り起こしと誘致で、「B級グルメタウン」としての再生を進めている。

同大の拠点施設がオープンしたのは、元パン屋さんの空き店舗。学生たちがシャッターにペンキ塗りのワークショップ。内装を改修した約80平方メートルの広さ。ボックス棚、テーブル、コピー機、洗面室・トイレなど備え、さまざまな団体が利用できるボックスもある。学生が常駐して管理、運営する。学生たちは地元の商店主や住民と交流、意見交換して、まちづくりに何が提案できるか研究する。

オープン式典も行われ、岡村幸四郎市長、奥ノ木信夫県議会議長、立石泰広市議、小野田健治西川口経営者フォーラム会長ら県、市、企業など関係者約50人が出席。同研究室の早田幸教授は「教育と研究、社会貢献を兼ねたまちづくりのお手伝いの活動を展開していきたい」とあいさつ。岡村市長は「西川口再生のために役立ってほしい。期待しています」とお祝いの言葉を述べた。